

「農薬分科会における利益相反の防止について」の様式の変更について (案)

1. 経緯

農業資材審議会農薬分科会（以下、「農薬分科会」という。また、本分科会に設置されている部会を含む。以下同じ。）における審議を通じて行われる農薬の登録、変更の登録、再評価等は、その結果又は内容によって、当該農薬登録等の申請者に利益又は不利益を及ぼし得るものであり、農薬の品質及び安全性を確保していくためには、これらの判断が、その時点において最新の科学的知見に基づき、公平・中立的になされる必要がある。

このため、「農薬分科会における利益相反の防止について」（平成30年9月14日農業資材審議会農薬分科会決定）に基づき、審議対象の農薬ごとに「農薬分科会の委員の利益相反申告書」（以下「申告書」という。）の提出を委員に求めているところ。

他方、昨今の再評価の進捗等に伴い、農薬分科会の会合で審議を要する農薬の数が増加しており、農薬分科会の会合を開催するに当たり記入を要する申告書の枚数も増加。今般、利益相反の確認内容を維持しつつ、申告書の様式を改正することにより、申告書記入の軽労化を図ることとしたい。

2. 改正のポイント

農薬ごとに利益相反となり得る利害の詳細を申告書に記入していたところ、農薬分科会の会合で審議する農薬全てについて利益相反となり得る利害の詳細を申告書に記入するよう様式を改正することとする。

(別紙)

平成 30 年 9 月 14 日
農業資材審議会農薬分科会決定
年月日
一部改正

農薬分科会における利益相反の防止について

本分科会（本分科会に設置される部会を含む。以下同じ。）における審議を通じて行われる、農薬の登録や変更登録（以下「登録等」という。）は、その結果又は内容によって、当該農薬登録等の申請者に利益又は不利益を及ぼし得るものである。農薬の品質及び安全性を確保していくためには、これらの判断が、その時点において最新の科学的知見に基づき、公平・中立的になされる必要がある。

このため、本分科会において、委員に対し、下記の基準のいずれかに該当がないかどうかの自己申告を農薬分科会（部会）の会合ごとに別添の様式により求め、利益相反があると考えられる委員については、原則として、当該利益相反に係る審議が行われている間は退席を求めるものとする。

なお、審議を行う上で当該委員の知見が重要であると考えられる場合には、分科会長（部会の場合にあっては部会長）の判断により、当該利益相反が審議結果に影響を与えない範囲において、審議に参加させることができるものとするが、この場合においても、当該委員は議決には参加しないものとする。

記

1 申請資料等の作成への関与

審議対象の農薬の申請者若しくはその関連企業又は同業他社（以下「特定企業」という。この場合における同業他社とは、審議対象の農薬と適用病害虫及び作用機作が類似しており、競合関係にある農薬を製造している又は開発中であるものに限る。）による申請資料の作成に協力（申請資料の作成への技術的助言を含む。）した場合。ただし、多数の試験を受託する機関に所属する委員が、通常の業務として試験責任者以外の立場で試験に関与した場合は含まない。

2 雇用その他の関係

委員又はその家族（配偶者及び一親等の者であって委員と生計を一にする者をいう。以下同じ。）が過去3年以内に特定企業の役職員等に就任していた場合又は特定企業の全株式の5%以上を保有している場合。

3 金品の授受

特定企業から過去3年間のいずれかの年において取得した金品等（報酬、株式利益、特許使用料、講演料、原稿料、研究費、寄付金等）の合計額が、委員及びその家族にあっては百万円以上、委員が所属する組織にあっては二百万円以上である場合。この場合において、委員が所属する組織が取得した金品等とは、当該委員が実質的に用途を決定し得るものに限るものとする。

農薬分科会（部会）の委員の利益相反申告書

私又は私の家族が有する、第〇回農業資材審議会農薬分科会（部会）（令和〇年〇月〇日）における審議事項に係る利害関係について以下のとおり報告いたします。

農薬〇〇〇〇（申請者：〇〇株式会社）

利益相反となる 可能性があります。 可能性はありません。

農薬△△△△（申請者：▼▼株式会社）

利益相反となる 可能性があります。 可能性はありません。

農薬××××（申請者：●●株式会社）

利益相反となる 可能性があります。 可能性はありません。

農薬□□□□（申請者：株式会社〇〇）

利益相反となる 可能性があります。 可能性はありません。

利益相反となり得る農薬について、利害の詳細は以下のとおりです。

農薬	利害の類型（申請資料の作成への関与、雇用その他の関係、金品等の授受等）	特定企業の名称	裨益者	時期

また、その他審議における客観性又は独立性に影響を及ぼし得る事項は以下のとおりです。

農薬	審議における客観性又は独立性に影響を及ぼし得る事項

上記に開示した情報は正確であり、私の知り得る限り、このほかには、利益相反となり得る事項はありません。以上の状況に変化が生じた場合には、審議の過程において生じた論点に関する利益相反を含め、書面又は口頭で申告します。

署名：

年月日：

申告書記入上の留意事項：

1. 申告書は、農薬分科会（部会）の会合ごとに記入し、事務局（農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室）に提出する。
2. 「農薬分科会における利益相反の防止について」本文に記載の基準に該当する事項があれば、漏らさず記載する。その際、金品等の授受の合計額を具体的に記載する必要はない。

3. 裨益者の欄には、利益相反の基準に該当する利害を有している主体（本人、家族、所属する組織等）を記入する。
4. 利害の詳細及び審議における客観性又は独立性に影響を及ぼし得る事項に関して申告する際、申告する農薬の数に応じて行を追加する。

農薬分科会における利益相反の防止について 一部改正案 新旧対照表

(下線の部分は改正部分)

改正後	改正前
<p>農薬分科会における利益相反の防止について</p> <p>(略)</p> <p>このため、本分科会において、委員に対し、下記の基準のいずれかに該当がないかどうかの自己申告を農薬分科会(部会)の会合ごとに別添の様式により求め、利益相反があると考えられる委員については、原則として、当該利益相反に係る審議が行われている間は退席を求めるものとする。</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1～3 (略)</p> <p style="text-align: right;">別添</p> <p>農薬分科会(部会)の委員の利益相反申告書</p> <p><u>私又は私の家族が有する、第○回農業資材審議会農薬分科会(部会)(令和○年○月○日)における審議事項に係る利害関係について以下のとおり報告いたします。</u></p> <p>農薬○○○○(申請者:○○株式会社) 利益相反となる <input type="checkbox"/> 可能性があります。 <input type="checkbox"/> 可能性はありません。</p> <p>農薬△△△△(申請者:▼▼株式会社) 利益相反となる <input type="checkbox"/> 可能性があります。 <input type="checkbox"/> 可能</p>	<p>農薬分科会における利益相反の防止について</p> <p>(略)</p> <p>このため、本分科会において、委員に対し、下記の基準のいずれかに該当がないかどうかの自己申告を審議対象の農薬ごとに別添の様式により求め、利益相反があると考えられる委員については、原則として、当該利益相反に係る審議の行われている間は退席を求めるものとする。</p> <p>(略)</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1～3 (略)</p> <p style="text-align: right;">別添</p> <p>農薬分科会(部会)の委員の利益相反申告書</p> <p>第○回農業資材審議会農薬分科会(部会)(平成○年○月○日)における、<u>農薬○○○○(申請者:○○○○)に関する審議事項に対し、私又は私の家族が何らかの利害を有しており、利益相反となる</u></p> <p><input type="checkbox"/> <u>可能性があります。</u> <input type="checkbox"/> <u>可能性はありません。</u></p>

性はありません。

農薬××××（申請者：●●株式会社）

利益相反となる 可能性があります。 可能

性はありません。

農薬□□□□（申請者：株式会社○○）

利益相反となる 可能性があります。 可能

性はありません。

利益相反となり得る農薬について、利害の詳細は以下のとおりです。

農薬	利害の類型（申請資料の作成への関与、雇用その他の関係、金品等の授受等）	特定企業の名称	裨益者	時期

また、その他審議における客観性又は独立性に影響を及ぼし得る事項は以下のとおりです。

農薬	審議における客観性又は独立性に影響を及ぼし得る事項

上記に開示した情報は正確であり、私の知り得る限り、このほかには、利益相反となり得る事項はありません。以上の状況に変化が生じた場合には、審議の過程において生じた論点に関する利益相反を含め、書面又は口頭で申告します。

利益相反となり得る利害の詳細は以下のとおりです。

農薬	利害の類型（申請資料の作成への関与、雇用その他の関係、金品等の授受等）	特定企業の名称	裨益者	時期

その他審議における客観性若しくは独立性に影響を及ぼし得る事項

上記に開示した情報は正確であり、私の知り得る限り、このほかには、利益相反となり得る事項はありません。以上の状況に変化が生じた場合には、審議の過程において生じた論点に関する利益相反を含め、書面又は口頭で申告します。

署名： 年月日：	署名： 年月日：
申告書記入上の留意事項： 1. 申告書は、農薬分科会（部会）の会合ごとに記入し、事務局（農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室）に提出する。 2. ・ 3. （略） 4. <u>利害の詳細及び審議における客観性又は独立性に影響を及ぼし得る事項に関して申告する際、申告する農薬の数に応じて行を追加する。</u>	申告書記入上の留意事項： 1. 申告書は、農薬分科会（部会）の会合ごとに、 <u>審議対象となる農薬別に各一葉記入し</u> 、事務局（農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室）に提出する。 2. ・ 3. （略） （新設）